

広報 ただみ

7
2026 月号
No. 674
令和8年7月10日



今月の表紙

【田子倉湖でカヤック体験会】

「モンベル×只見町 カヤック無料体験会」が6月20日に開催されました。町内外から集まった参加者は、ガイドから漕ぎ方を教わった後、湖へと漕ぎ出しました。雄大な山々や湖の景色を楽しんだり、岩場に潜むエビを見つけたり、船上という普段とは異なる視点で自然と触れ合いました。

《特集》

私たち「地域おこし協力隊」です

..... 2～5

《News&flash》 6～7

《町の話》 8～12



私たち「地域おこし協力隊」です

地域おこしを手伝ってくれる人材が只見町に移り住みました。着任間もない隊員、すでに地域の方々と協力して活動している隊員がいますが、地域おこし協力隊（以下、協力隊）はどんな人たちなのか、只見町にどのような思いを持っているのか。今回の特集では只見町で活躍する隊員たちの素顔を紹介します。

地域おこし協力隊とは

平成21年度に総務省が創設した制度。人口減少や高齢化などの課題を抱える地域が、都市部から人材を受け入れ地域活性化に取り組みます。原則1～3年間、地域に移住し、農林水産業や特産物を活かした商品開発、交流の場づくりなど活動は多岐にわたります。

只見の春の美しさ！
桃源郷に來たのかと思いました



中田 理恵さん

- ▷出身：静岡県
- ▷任期：令和8年5月～
- ▷担当業務：只見ユネスコエコパーク事業
- ▷趣味・特技：ゆっくり歩くハイキング、季節の農産物を使った加工品作り

以前から只見町ブナセンターのイベントに参加していました。その際、地域の方々が本当に楽しそうに町を紹介してくださり、その只見愛に感銘を受けました。只見町の人と自然に惹かれて、協力隊に応募しました。

趣味はゆっくり自然を楽しむハイキングです。先日は蒲生岳に登って、急斜面と岩場に驚きました。また、黒沢のあがりこ型樹形のナラにナラ枯れ防止薬剤注入作業をしました。道中は道のりが険しく、草木をかき分けながらやっとの思いで作業しました。只見は自然が豊かですが、厳しい面もあり、その中で人知れず仕事をしている人たちがいて文化が守られていくのだと実感しました。

地域を歩き回って情報収集していますので、見かけた際はお声がけください。

「誰かが見つけてあったかい気持ちになるもの」を作っていきたいです



佐藤 雪音さん

- ▷出身：福島県国見町
- ▷任期：令和7年12月～
- ▷担当業務：町のSNSやホームページでの情報発信、町民インタビューなどの取材
- ▷趣味・特技：旅行とパズル

初めて訪れたのは大学院生のときです。農村の研究をしていて、（町の皆さんには申し訳ございませんが）福島県で一番住みづらいところを考えたときに、只見町かなと思って来ました。良い景色と『『自然首都・只見』伝承産品』に興味を持ち、只見町を研究することにしました。それから多くの町民の方に出会い、お世話になりました。

その後、民間企業に就職しましたが、退職して協力隊として移住しました。雪が心配でしたが、町民の方は雪に慣れているし、それに楽しんでいる方に出会えて、今年の冬は皆さんのおかげで乗り越えられました。

今は交流推進課に所属して、町のSNSやホームページを運営して情報発信をしています。



只見町公式Instagram
ただみ暮らし



只見町公式note
暮らしと移住



只見町ブナセンター
公式Instagram



只見町ブナセンター
公式ホームページ

遊びと学びは表裏一体。生徒たちと「面白い」ことを追求したいです



味村 有果さん

- ▷ 出身：静岡県
- ▷ 任期：令和7年4月～
- ▷ 担当業務：心志塾講師、高校生の学習・進路支援
- ▷ 趣味・特技：只見の風土を楽しむこと、ドイツ語・原語で作品を読むこと

只見に移住し、冬には水墨画のような白銀の世界に、春には山々の色鮮やかさ、生命力あふれる自然の強さに感動しました。人々の人間的温かさ、距離の近さも感じています。美しさと同時に人間に脅威すら与える厳しい只見の自然は、人々がお互いに助け合う温かみあふれる文化をもたらしてきたのだと確信しています。

私は雪の降らない静岡の出身ですから、只見は私にとっての外国のようです。只見の言葉も勉強中です。世界には多様な価値観があります。外国語、異文化を理解するということは、自分の知らない価値観との出会いです。それは翻って自分自身の内面性を知ることにつながります。

心志塾では自分の心に耳を傾けること、そしてそれを表現することを大切に、子供たちと様々な学びを通して、ともに人間として成長していきたいと思っています。

本当に自然が豊かなところに行きたくて「ここだ」と思って来ました



味村 考祐さん

- ▷ 出身：大阪府
- ▷ 任期：令和7年3月～
- ▷ 担当業務：只見町公営塾(心志塾)講師、高校生の学習支援、進路活動支援
- ▷ 趣味・特技：読書(好きな作家は遠藤周作)

大阪で育ち、父母とスキーやキャンプを楽しんだことで自然に対する憧れがずっとありました。

子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所、教育分野の仕事に携われる場所を探して、只見町に来ました。初めて来たときは町が雪で真っ白になっていて、5月に雪が溶けてやっとどんな町か分かりました。自然の豊かさ、大きさを知りました。

只見の人のあたたかさに敬服しています。人の思いや感謝の気持ちを大事にされる方たちがいて、その方たちのあたたかさにどう応えられるのか日々考えています。

今、心志塾講師として生徒たちに「学ぶ」面白さを伝えたいです。公式など基礎は面白くないところもありますが、基礎を身に着けると自由に動けるようになります。間違え、リトライすることで人は学ぶもの。何が違ったか知ることを「学び」というのだと伝えたいです。

只見町には「また帰ってきたくなくなる力」があると感じています



平松 結子さん

- ▷ 出身：富山県
- ▷ 任期：令和8年7月～
- ▷ 担当業務：只見駅インフォメーションセンターでの観光開発、観光ガイド
- ▷ 趣味・特技：ゴスペル、合唱、タロット、整体など

これまで国内外で生活し、只見町への引っ越しが通算16回目です。4年前に東京に移住して、観光開発会社に就職しました。只見町を紹介するオンラインイベントを開催し、町の魅力を届けてきました。

町を好きになってきた頃に、只見線全線再開通があり只見駅に行きました。列車を待つ間に町民の方からおにぎりをいただいて、とても美味しくて泣きながら食べました。人がとてもあたたかくて、いいところだと思っています。

東京の観光案内所でも働いていて、観光客に外国語で案内していました。将来は古民家での民泊をやりたいです。バックパックでも世界を回りましたし、色んな国で過ごしてお世話になったので、今度は私がおもてなししたいと思います。



只見町インフォメーション
センター公式Instagram

地域を動かす、新たな視点

協力隊の皆さんが只見町の印象や暮らしてみていること、日頃考えていることを渡部町長に伝える懇談会を開催しました。協力隊の皆さんの町づくりに対する思いや町長からのメッセージをお伝えします。



►和やかな雰囲気得意見交換しました

町長…只見町に来ていただいて本当にありがとうございます。皆さんのような人材を只見町は必要としています。これまでも多くの方々のお世話になって、ご縁を大切にして町が成り立っているとはつきり思いますので、遠慮せずに色々ご提案ください。

中田…自然首都推進室の業務で山に分け入ると、かじご焼きの跡がありました。以前、町民の方から「子どもの頃は、秋に山の各地からかじご焼きの煙が立ち上っていた」と聞いたことを思い出しました。こういった仕事、只見町の文化や風土を守ってきたのだと感じました。平松…最近まで新宿駅の観光案内所で働いていて、外国人観光客の方とたくさん話してきました。彼らは只見町のことを絶対好きにな

ると思うのに、誰も知らないという。とてももったいないと思ったので、協力隊になってみました。只見町の持つストーリーは切り口がいっぱいあって深いものがあります。そういった町の姿が見えるガイドや発信をしていきたいです。

町長…皆さんには、只見町を塗り替えてもらいたいと思っています。不利・不便は改善しないといけないけれども、「自然首都・只見」といった守るべきところは守る、つなぐところはつなぐ。今、大きく町のブランドデザイン（目標を達成するために描く全体構想）を変える時期だと思っています。楽しく生活できて、みんなで見るとほっとするような町でありたいので、「こういう町に住みたい」と伝えてください。

活動中の協力隊の皆さん

- 1_おすめの木皿を紹介してくれた中田さん
- 2_取材中に小学生と触れ合う佐藤さん
- 3_商品の見せ方を工夫する平松さん
- 4・5_只見高校生に分かりやすく教える味村考祐さん、味村有果さん





▲これまでも、これからも、よりよい町づくりのために動いていきます

味村有…公民館以外にも、大人と子どもの居場所が増えると思うと思います。大きな図書館と開放された芝生の中庭、喫茶店や本屋、これらが一体化したような場所をイメージしています。どの場所でも本が読めて、ピクニックもできて、あらゆる世代間の交流ができる。こういう場所で見町に残っている伝統や文化が共有されて、町の文化的な財産が増えていくのではないかと思います。

町長…只見駅前で飲食できたりお茶したり、今日駅前に行ってみない？という空間をこれから作りたいです。また、今ある公共施設を活用した交流スペースの整備も考えています。そういった中で、まさにいただいたご意見をどういう形でコーディネートできるか、挑戦したいと思います。

い研究があります。蓄積された知識を誰もが共有できる場所があれば、只見の自然を研究されている方もここにきて勉強できるのではないかと思います。

人間が勉強する上では座学に加えて経験も大切です。只見町は自然が豊かな上に産業や農業など社会活動も活発で、町全体が前を向いているところがよいと思います。そして、学びと一緒に実践もできる環境があり、教育の観点から魅力的に感じています。

また、図書館には蔵書がリストになるというよさがあります。リストを見ればその図書館がどれほど素晴らしいか分かります。図書館があることで、只見町は教育の分野でも力があつて、土台のあるところだと広く伝わっていると思います。

町長…本を読んだりさまざまな経験をしたり、そうした積み重ねで本当に内面から人になっていくと思います。そうした意味で大事なものは何か、きちんと残していく、そこに取り組んでいく姿勢に価値があり、魅力的な町として映ってくると思います。どこまでのものができるか分かりませんが、図書館を意識したものの整備を検討したいと思いました。

佐藤…最後に、今後のことはまだ考えられていませんが、今、情報発信をしていて「いつか誰かが見つけてあったかい気持ちになるものを作ればいいよ」と町民の方が言ってくださって。手探りではありますが、頑張りたいと思います。

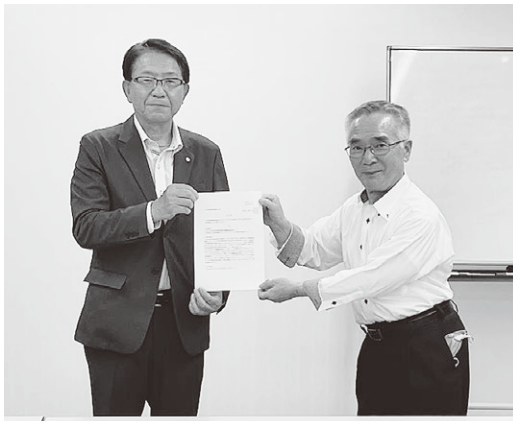
それから協力隊定例会を始めました。こうして話すのは楽しいので、定期的には集まりたいです。これからもよろしく願います。

保健福祉施策を審議

只見町保健福祉審議会「開催

只見町保健福祉審議会の第1回会議が6月1日、保健福祉センターで開催されました。この審議会は町長の諮問に応じ、町の保健福祉施策の重要事項を調査審議するために設置されています。第1回の今回は、渡部町長から新国守会長に諮問書が交付されました。

会議では令和8年度から令和12年度を計画期間とする第二次只見町国民健康保険朝日診療所基本計画や、あさくさホームの具体的な活用について審議されました。今後とも会議を開催し、8月に答申書を提出する予定です。



▲諮問書を交付する渡部町長（左）と受け取る新国守会長

只見を心のふるさとに

学生団体えんびやれと町が懇談

学生団体えんびやれと町の懇談会が6月8日に町役場で行われ、学生ら7人が訪れ、渡部町長らと意見を交わしました。

代表の堀金康太さん（大正大2年）が8月に開催予定の夏祭りについて企画を説明しました。堀金さんは「世代を超えて交流できる場をつくりたい。学生がやることに誇りを持つて取り組みたい」と思いを語りました。渡部町長は「若い人の力で地域をかき回せられる。只見町をワールドにどんどん挑戦してほしい」と話しました。今後は学生らと町が協働でイベントの準備を進めていく予定です。



▲若者と地域住民と一緒に楽しむ企画を目指します

シャクヤク畑を視察

内堀知事が来町

内堀知事が6月18日に来町され、只見地区のシャクヤク畑を視察しました。渡部町長らが内堀知事を出迎え、クラウドウ只見の高原豊さんと渡部和子さんがシャクヤク栽培の取り組みを説明し、シャクヤクの花から作られたハーブティーを振る舞いました。

説明を受けた内堀知事は「大事に育てられていて感激。国内で生産されている漢方は少ないが、メイドイン只見のシャクヤクが福島県内の医療で活用されていることは素晴らしいこと。ぜひこの栽培を未来につなげてほしい」と話しました。



▲最後に内堀知事と町の皆さんで記念撮影をしました

救急医療の連携強化を図る

「救急対応勉強会」開催

第1回救急対応勉強会が6月25日、朝日診療所で開催されました。救急医療に対応する知識向上や連携強化を目的に、朝日診療所と南会津消防署の合同で行われました。

講師を務めた佐竹秀一医師は、医師の偏在や救急医の減少がある一方で、会津・南会津地域は受け入れ率の高い救急体制が整っていると話し、一次医療機関である朝日診療所と消防署の連携強化を図る必要性について説きました。また、只見出張所の救急救命士からは救急の現状や対応事例について発表がありました。



▲今後も勉強会を継続し、医療体制の充実を図っていきます

令和8年度 「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業の 助成テーマ・研究者グループが決定！

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、只見町の自然環境・生物多様性、歴史、民俗、産業に関する調査研究をおこなう研究者に対して助成し、それらの価値を科学的にあきらかにすることで「自然首都・只見」ブランドの向上をめざすものです。研究の目的・内容、わかりやすさなどの観点で厳正な審査を行った結果、今年度は下記の6件について助成を行うことが決定しました。

No.	研究テーマ	助成研究者代表	所 属
1	キタゴヨウの森は、なぜその尾根にできるのか ー只見の自然がつくる山のしくみー	近藤 博史 さん	国土舘大学
2	人為的攪乱が只見町に生息する イワナ在来系群の集団遺伝構造に与える影響	村上 弘章 さん	東北大学大学院
3	只見の山の森は過去・現在・未来で どのように変化するのか？	笥 わかな さん	横浜国立大学 大学院
4	タダミハコネサンショウウオとハコネサンショウ ウオの共存はどのようになりたっているのか？	宗像 優生 さん	筑波大学大学院
5	安全で楽な薪運びを実現する道具を科学的に デザインする！	大橋慎太郎 さん	新潟大学
6	(1)八十里・六十里峠 新潟側の古地籍図の研究 (2)只見の民俗にみる奥会津・越後交流	赤塚 公生 さん	奥会津・越後 交流史研究会

なお、助成研究者は、只見町ブナセンターと連携して調査研究をおこないます。町内で只見町ブナセンターの腕章・ロゴを付けた研究者や車両を見かけましたら、本事業による調査中ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。年度内には研究成果発表会を開催する予定です。

【お問合せ】 只見町役場総務企画課自然首都推進室 0241（82）5963

ぶなのもりこども園 「いきものうんどうフェスティバル」開催

「いきものうんどうフェスティバル」が6月18日、ぶなのもりこども園で開催されました。第2回の今年は「～ところをひとつに！えいえいおー！！～」をスローガンに、園庭を子どもたちが好きなビオトープに見立て、活動が行われました。

今回はさくら組の子どもたちが中心となり企画した、自然との関わりを表現した活動が行われました。段ボールで作った生きものに扮した子どもたちを保護者さんが見つける活動など、保護者さんや祖父母の皆さんとの交流活動も盛り込みました。また、さくら組の子どもたちが司会を担い、主体的に進めました。最後はオタマジャクシチームとアカハライモリチームに分かれてのリレーが繰り広げられました。



省力化と収量増に期待 げんき村でエゴマの直播を実施

げんき村はエゴマの直播（種を直接畑にまくこと）を5月26日に実施しました。これまではエゴマの苗を定植していましたが、先進地の岐阜県や長野県で直播栽培を学び、今年から導入しました。直播により芽が強く育ち、収量の増加が期待されます。げんき村のスタッフらは耕うんを十分に行った畑に手押式の種まき機を使って種をまきました。

代表取締役の藤田力さんは「今後、直播が他の作物へ広がり、町の農業への好影響が大きいのでは」と話しました。



▲種まきから約1週間後、無事に芽が出ました

いざというとき、命を守るように 防災セミナー「災害への備え」開催



▲気象警報の変更についても説明されました
(p.17に詳細を掲載しています)

只見町防災セミナー「災害への備え」（只見町主催）が5月30日、只見公民館で開催され、町民ら32名が参加しました。講師を務めた日本赤十字社福島県支部の松本琢也さんが地震や水害などの実例を紹介し、家具の転倒防止や避難所への移動時に必要なものなど、災害への対策や備えについて説明しました。参加者は講演のほか、会場に設置されたテントや簡易トイレなどの防災備蓄品に触れ、防災の意識を高めました。

今後は9月1日の防災の日に、只見公民館で災害図上訓練を実施する予定です。

シャクヤクの地産地消と関係人口の増加に寄与 ボランティアがシャクヤクの花摘み

漢方薬用に栽培しているシャクヤクの花摘み作業（有限責任事業組合クラウドゥ只見主催）が5月30日～6月20日までの土日に行われました。クラウドゥ只見は安全で良質な生薬原料を安定供給するとともに、まちづくりへの貢献を目指し活動しています。県内外から集まったボランティアのべ約150人が作業しました。

シャクヤクは花が咲くと漢方薬となる根が生長しなくなるため、花摘みの作業は欠かせません。摘んだ花はハーブティーや粉末にしてソフトクリームにふりかけるなどして活用します。秋には根の掘り起こしを予定しています。



▲参加者は只見町の景色を楽しみつつ作業しました

奥会津の魅力ある素材を活かす

「売れるモノづくりを考える会」開催

「売れるモノづくりを考える会」（只見川電源流域振興協議会主催）が6月10日、只見公民館で開催されました。NPO法人「素材広場」の横田純子理事長が講師を務め、奥会津の味や素材を活かした商品づくりの開発を呼びかけました。また、株式会社そらの吉田雅恵社長は密閉性が高く、味が保たれるアルミ製パッケージを紹介しました。

参加した町内外の食品加工事業者らは、新商品の試作品作製に向け意見を交わしました。今後2回にわたり試作品の検討を行い、9月から11月に会津若松市の鶴ヶ城会館でテスト販売する予定です。



▲「市場の流行は小柄でかわいいパッケージ」と説明する横田さん

食生活を通じた健康増進に尽力

酒井さん 県食改推進連絡協議会会長表彰 受賞



▲酒井美恵子さん(左2人目)と只見町ヘルスメイトの皆さん

県食生活改善推進連絡協議会の総会が6月10日、いわき市で開催され、酒井美恵子さん（坂田）が「福島県食生活改善推進連絡協議会会長表彰」を受賞しました。

酒井さんは只見町食生活改善推進員会の会員として、町の健康づくり活動に20年以上にわたり尽力され、平成26年から2期4年、理事を務められました。今回はそれらの活動が認められ、受賞となりました。おめでとうございます。

日頃の感謝の気持ちを行動に

商工会青年部 只見地区で草刈りを実施

只見町商工会青年部は6月12日に只見地区内で草刈りを実施しました。全国商工会青年部連合会では、6月10日の「商工会の日」を中心に、地域貢献活動などを通じて感謝の気持ちを形にする全国統一事業「“絆”感謝運動」に取り組んでいます。今年度、只見町商工会青年部では地域緑化事業を計画しました。

部員らは只見駅周辺の広場、三石神社の参道の草刈りを行い、地域の景観維持に取り組みました。



▲地元の環境整備に汗を流しました

手作りパンフレットで只見町の魅力をアピール 町内3小学校 修学旅行で柏市を訪問

町内3小学校の6年生19人は6月17日から19日にかけて関東方面に修学旅行に行き、17日には、ふるさと交流都市の柏市を訪れました。修学旅行で柏市を訪れるのは初めてです。子どもたちは道の駅しょうなんで手作りの観光パンフレット等を来場者に配り、只見町をPRしました。

また、毎年交換給食事業を行っている市内のブルーベリー農家を訪れ、育て方や品種の説明を聞き、食べ比べ体験をしました。最後にJリーグ柏レイソルのホームスタジアムの三協フロンティア柏スタジアムを見学し、特別に許可され芝生のピッチ内に入り、走り回って柏市を満喫しました。

▶パンフレットを渡して町を紹介する子どもたち



▲特別にロイヤルシートにも入らせてもらいました

二軒在家地区の史跡を巡る

「明和ふるさとハイキングin二軒在家」開催



▲ハイキングを楽しんだ参加者の皆さん

「第10回明和ふるさとハイキングin二軒在家」(明和自治振興会、明和公民館主催)が6月20日に開催され、町民18人が参加しました。

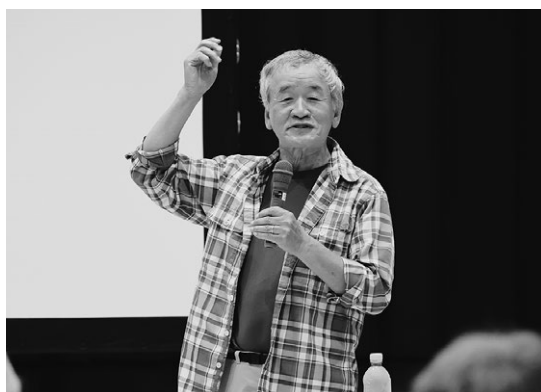
参加者は二軒在家地区にある愛宕神社や熊野神社、砂防ダムなどを巡る約2.5kmのコースを歩き、案内人の矢沢明伸さん(二軒在家)に神社の由来や過去の豪雨災害について解説いただきました。史跡にまつわるクイズも出題され、参加者は地域について学ぶ機会となりました。

ブナセンター講座

「鳥が作った自然界ー花・虫・鳥の共進化ー」開催

「鳥が作った自然界ー花・虫・鳥の共進化ー」(只見町ブナセンター主催)が6月20日に只見公民館で開催されました。

立教大学名誉教授・日本野鳥の会会長の上田恵介博士が講師を務めました。講座では鳥や虫など花粉を運ぶ「送粉者」の見える色相に対応するように花の色が変わっていったことや、生物環境に適応するために花や樹幹に擬態する虫の進化など、生き物の生存戦略について解説されました。また、翌21日には上田博士と新田沢周辺で野鳥観察会が行われました。



▲「進化は生き物同士の駆け引き」と話す上田博士

身近な事例から人権を考える 「人権教室」開催

只見中学校全校生を対象に「人権教室」が6月22日に行われました。只見町人権擁護委員の角田行雄さん、渡部早苗さんが講師を務めました。

生徒らは部活動でケガをして大会に出られない仲間がいたどのような声かけをするかを考え、発表しました。角田さんは自分が言われたらどう思うかを問いかけ、「自分が弱い立場になった時に、人権を大事にして立ち向かってほしい」と伝えました。



▲「順調なときは見えてこない。弱くなった時に人権の大切さに気づく」と角田さん

田んぼの役割や生きものを学ぶ 「生きもの調査」開催



▲興味津々で生き物を眺める子どもたち

「生きもの調査」（福島県南会津農林事務所主催）が6月23日に朝日小学校で行われました。町内3小学校の子どもたちが参加し、講師はアクアマリンふくしまの春本宜範さんが務めました。春本さんは素掘りの用水路が減り生き物が少なくなっていることを説明し、「今の田んぼの様子を知ることが大切」と話しました。

その後、子どもたちは町内で捕れたドジョウやトノサマガエルなどの生き物やアクアマリンふくしまから連れてきたタガメやゲンゴロウを観察しました。

ブナりん健康ポイント
100ポイント到達おめでとうございます

齋藤昌一郎さん・千治さんと栗木喜一さんが「ブナりん健康ポイント制度」で100ポイントを達成しました。これからもサロンや健康講座に参加して、健康に元気にご活動ください。

「ブナりん健康ポイント制度」は、介護予防教室や、健康講座、地域づくりサロンなどに参加するとポイントをもらうことができ、ポイント数に応じて健康グッズなどと交換できる制度です。



▶ 齋藤昌一郎さんと千治さん(亀岡)
お二人とも人と話すことが好きで、
サロンで色々な人と交流し、楽しく
過ごしています。



▶ 栗木喜一さん(小川)
元気の秘訣は、家の仕事を少しして
身体を動かすことだそうです。



只見短歌会

令和八年六月詠草

勝負ごとに理解はあれど負けて泣く孫の泪に我も泣きたし
目黒 富子

思ひだけ先走り行き悶々と今の自分を忘れ去ること
関谷登美子

梅雨晴れ間跳ねゆく息子水たまりしぶきの音に笑みのこぼるる
立花 奏音

一歳の弟の成長に感動し涙流すは五年生の兄
新国由紀子

毎日の暑さ続けば土乾き畑の作物水不足となる
渡部ヨリ子

只見俳句会

六月定例会

抱きしめる孫の手に汗夏木立
修 一

夏草や幾星霜の五稜郭
信

只見線緑の溪を抜けていく

父の日や横座ゆずれぬ八十路かな
都

春野菜栽培せんと畑に立つ

雲うすく^{むし}筆^{あおね}つて見たい青嶺かな
味代子

甘酒や飲む点滴と続く朝

路線図はパズルの如し夏帽子
一 恵

目ざとしやトビゲラ筒巢次々と

シロツメクサ茶碗に入れしおもいでや
真理子

春の月愛の石橋続く道
睦 子

春愁や猫がしやぶるか足の指

蜻蛉^{とんぼう}や草の葉揺れる日暮れなる
尚 幸

伊南川の岩陰めがけ山女釣り

畑作業待ちに待ったり喜雨の雨
理恵子

空き家にも薔薇一輪咲きにけり



今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務係	企画係 財政係
	☎ 82-5210
自然首都推進室（ただみ・ブナと川のミュージアム）	
	☎ 82-5963
	FAX 72-8356
町民生活課	
町民税務係	☎ 82-5110
生活安全係	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健係	☎ 84-7005
福祉係	
成年後見センター	☎ 84-7010
農林建設課	
農林係	☎ 82-5230
建設係	☎ 82-5270
交流推進課	
観光交流係	商工労働係
	☎ 82-5240
会計室	☎ 82-5120
只見保育所	☎ 82-2219
認定こども園	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
（歯科）	☎ 84-2612
こぶし苑	☎ 84-2101
只見公民館	☎ 82-2141
朝日公民館	☎ 84-2111
明和公民館	☎ 86-2111
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230

税 今月の納期

- 7月27日までに納めましょう
- 固定資産税（2期）
 - 国民健康保険税（1期）
 - 農集排使用料（7月分）

試験

令和9年度只見町職員（高校卒程度）（資格免許職）（社会人経験者）採用候補者試験

一、試験職種及び採用予定人員

【高校卒程度】

○一般事務 1名程度

○土木 1名程度

○建築 1名程度

【資格免許職】

○保健師 1名程度

○看護師 1名程度

【社会人経験者】

○一般事務 1名程度

二、受験資格（学歴不問）

【高校卒程度】

平成9年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた者で、土木・建築職において

は、無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

【資格免許職】

昭和51年4月2日以降に生まれた者で、試験職種に応じた資格免許（保健師、看護師）を有する者、又は令和9年3月末までに資格取得見込みの者

【社会人経験者】

昭和46年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者で、民間企業等における職務経験年数が直近10年中の期間において、通算5年以上有する者（詳細は試験要領による）

三、試験の方法

【第一次試験】

・高校卒程度

・教養試験（高校卒程度）及

・事務適性検査・性格特性検査・職場適応性検査

・資格免許職

・社会人経験者

・職務能力試験、職務適応性検査

・第二次試験（第一次試験合格者）

小論文、面接

四、第一次試験の日時、会場

・高校卒程度、資格免許職

▽日時

令和8年9月20日（日）

午前9時受付

午後2時30分（資格免許職は午前11時35分迄）

▽場所

福島市中町8番2号

福島県自治会館

五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

六、採用

合格者は採用候補者名簿に登録され成績順に町長が採用する者を決定します。（名簿の有効期間は一年間）

七、受験手続及び受付期間

【手続方法】

申込用紙は総務企画課及び朝日・明和公民館で交付します（郵送による交付請求の場合

令和8年7月15日（水）から8月14日（金）まで（郵送による場合は、8月12日（水）までの消印有効）

八、申込及び問合せ先

南会津郡只見町大字只見字町下2591-30 只見町役場

総務企画課総務係

☎ 0241-8215210



令和9年度南会津地方広域市町村圏組合消防職員採用試験(高校卒程度)

一、試験職種及び採用予定人員

○消防 4名程度

二、受験資格(学歴不問)

平成11年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた者で、普通自動車運転免許(AT限定免許除く)の取得者又は取得見込者

三、試験の方法

【第一次試験】

教養試験、適性検査、体力試験

【第二次試験】(第一次試験合格者)

面接試験、作文試験、身体検査

四、第一次試験の日時、会場

【日時】

令和8年9月20日(日)

午前9時受付～午後4時

【場所】

南会津郡南会津町田島字西上川原乙65 南会津地方広域市町村圏組合消防本部

五、発表

各役場、組合掲示板に合格者の受験番号を掲示するほか、合格者に通知します。

六、採用

合格者は採用候補者名簿に登録され成績順に採用する者を決定します。(名簿の有効期間は一年間)

七、受験手続及び受付期間

【手続方法】

申込用紙は南会津地方広域市町村圏組合事務局、消防本部又は出張所等で交付します。(郵送の場合は封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、140円切手を貼った返信封筒角形2号を添付すること)

【受付期間】

令和8年7月15日(水)から8月14日(金)まで(郵送の場合、8月14日必着)

八、申込及び問合せ先

南会津郡南会津町田島字西川上原乙65 南会津地方広域市町村圏組合事務局 総務課
☎0241-6210054

二、受験資格(学歴不問)

平成11年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた者で、普通自動車運転免許の取得者又は取得見込者

三、試験の方法

【第一次試験】

教養試験、適性検査

【第二次試験】(第一次試験合格者)

面接試験、作文試験

四、第一次試験の日時、会場

令和8年9月20日(日)

午前9時受付～午後2時30分

【会場】

南会津郡南会津町田島字田部原260 県立南会津高等学校

五、発表

各役場、組合掲示板に合格者の受験番号を掲示するほか合格者に通知します。

六、採用

合格者は採用候補者名簿に登録され、成績順に採用する者を決定します。(名簿の有効期限は一年間)

七、受験手続及び受付期間

【手続方法】

申込用紙は南会津地方広域市町村圏組合事務局、消防本部又は出張所等で交付します。(郵送の場合は封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、140円切手を貼った返信封筒角形2号を添付すること)

市町村圏組合事務局、消防本部又は出張所等で交付します。(郵送の場合は封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、140円切手を貼った返信封筒角形2号を添付すること)

【受付期間】

令和8年7月15日(水)から8月14日(金)まで(郵送の場合、8月14日必着)

八、申込及び問合せ先

南会津郡南会津町田島字西川上原乙65 南会津地方広域市町村圏組合事務局 総務課
☎0241-6210054



試験案内ページ

国立県宮宮城障害者職業能力開発校

令和8年度受講生募集

本校は、東北唯一の国立県営の障害者を対象とする公共職業能力開発校です。この度、次のとおり令和8年度受講生の入校選考を実施いたします。

一、科名 オフィス実務科

二、募集定員 定員10人

三、訓練期間

令和8年11月5日(木)から令和9年3月10日(水)まで

四、募集期間

令和8年7月31日(金)から令和8年9月16日(水)まで

五、選考日

令和8年10月7日(水)

六、選考場所

宮城障害者職業能力開発校(仙台市青葉区台原5丁目15-1)

七、募集対象

就職に向け職業訓練を希望する身体障害者手帳所持者又は医師の診断を受けている方

八、その他

費用・応募方法など詳しくは、当校のホームページをご覧ください。寮を希望の方には、選考日に入寮審査も併せて実施します。

●お問合せ先

国立県宮宮城障害者職業能力開発校

☎022-2333-3124

FAX 022-2333-3125

メール: syokn@

pref.miyagi.g.jp

お知らせ

ふくしま環境オデッセイ 開催

「コミュニケーション福島」オープン10周年を記念して、コミュニケーション福島の役割や魅力を再発見する劇場型プログラム「なおやマン」によるケミカルエンターテインメントや「クラウン潤」によるサイエンスECOPパフォーマンスショー、マインクラフトプログラミング教室やふくしまドローンパイロットなど、体験メニューが盛りだくさんのイベントを開催します！

【日時】

令和8年

8月1日(土)・2日(日)

午前9時～午後5時

【場所】

福島県環境創造センター交流棟「コミュニケーション福島」

【参加料】 無料



ホームページはこちら

●お問合せ先

「ふくしま環境オデッセイ」運営事務局 (株式会社ル・プロジェクト)

☎ 024-932-2232

地域支援センターみらんど・會津『みらんど交流会』開催

聴覚障がいのある、会津地域のお子さんを支える交流会を開催します。補聴器や人工内耳を使っている仲間との交流を通して、様々なコミュニケーションの方法や学び方を考えてみませんか？工作コーナーやかき氷、手話ビンゴ大会など、楽しいイベントを用意しています。

【日時】

令和8年8月3日(月)

午前10時～11時50分

【場所】

聴覚支援学校会津校 プレイルーム

会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原102

【対象】

会津地域の聴覚障がいのある幼児児童生徒とご家族
*補聴器や人工内耳を装着し

ているお子さん

*一側性のお子さんや軽度の難聴のお子さん

【参加料】 無料

【申込】

二次元コードまたはURLからGoogle フォームに必要な事項を入力してください。

<https://forms.gle/BkybpmqUykADn7cx5>

●お問合せ先

福島県立聴覚支援学校会津校 教頭

☎・FAX 0242-22-1286

メール: fukushima-sd-aizu@fcs.ed.jp



申込フォームはこちら

医療・介護のお仕事 魅力発見

南会津保健福祉事務所で、将来を考え始める時期にある中学生を対象に、職業選択のヒントや、医療・介護のお仕事の魅力発見に繋がる体験事業を実施します。
病院や施設で働く方々が、普段どんなお仕事をしている

のか、どんなやりがいがあるのか、実際の現場で聞いて、見て、体験できるチャンスです。

医療や介護の分野に興味がある方はもちろん、将来どんなことがしたいのか分からない方まで、まずはどんな仕事なのかを知って、皆さんの選択肢を広げてみませんか。

【日時】

令和8年8月6日(木)

午後1時～4時30分

【場所】

南会津病院・田島ホーム

【対象】

中学生

【定員】

15名

【申込】

二次元コード、郵送、FAX

*申込詳細についてはチラシをご確認ください。

※定員になり次第、締め切ります。ご了承ください。

●お問合せ先

南会津保健福祉事務所 総務企画課

☎ 0241-63-0302



チラシはこちら



申込フォームはこちら

バスの車内事故防止の お願い

公益社団法人福島県バス協会では、走行中のバス車内での事故を防止するため、「車内事故防止キャンペーン」を実施しております。

走行中に席を離れると、転倒など思わぬけがをする場合があります。お降りの際は、バスが停留所に着いてドアが開いてから席をお立ち願います。

また、バスは安全運手に徹しておりますが、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合があります。空席がある際は、ご着席いただき、満席のため、お立ちになってご利用いただく場合には、吊革や握り棒にしっかりとつかまりください。バスの車内事故防止に皆さまのご理解とご協力をお願いします。

●お問合せ先

公益社団法人福島県バス協会

☎ 024-546-11478

令和8年5月29日より

気象の警報などが大きく変わりました

いつ逃げる？情報の名称に「レベル」がついてより判断しやすく

気象庁等の情報 (大雨・土砂災害ほか)	市町村の対応	住民がとるべき行動
レベル5 特別警報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない。	命の危険 直ちに安全確保！ • すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。 • 今いる場所よりも安全な場所（2階など）へ直ちに移動等する。
〜〜〜〈警戒レベル4までに必ず避難！〉〜〜〜		
レベル4 危険警報	避難指示	危険な場所から全員避難 • 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。
レベル3 警報	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難 • 高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難する。
レベル2 注意報	・職員体制の確認 ・防災無線等による 注意喚起	自らの避難行動を確認 • ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。
レベル1 早期注意情報		災害への心構えを 一段高める

令和8年5月29日から防災気象情報が新しくなりました。従来の特別警報や警報、注意報が上の表のとおり災害に直結する名称に変わりました。避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断がしやすくなっています。

○避難するタイミングは「レベル3」と「レベル4」

「レベル3」は高齢者など避難に時間のかかる人は避難を。

「レベル4」は全員が避難するタイミングです。

「レベル5」はすでに命の危険が迫っている状態です。



只見町の防災情報
(気象庁ホームページ)

町から警戒レベル4 避難指示や警戒レベル3 高齢者等避難が発令された際には、速やかに避難行動をとってください。また、避難指示等が発令されていなくても、警戒レベル4や警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際は、「キキクル」や「河川の水位情報」等を用いて自ら避難の判断をしてください。

避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

●お問合せ先 町民生活課生活安全係 ☎ 0241-82-5100

ただみの今を支える人たち

株式会社ヒロタテクノ

代表取締役

山内 宏二 さん



「す工作機械を使い作っています。従業員は51名。町内外のほか、ベトナムやミャンマーなど外国の方も活躍しています」

会社を立ち上げた原点は？

「樫戸の樫原にあったティエヌアイ工業に就職をして、カメラの製造に関わるすべてを教わったことが原点です。その時に培ったこと、自分の実力がどれだけ通用するのか、地元と同僚たちと試したかった気持ちがありました。」

平成21年の創業から17年、只見町で光学精密部品加工を手がける「株式会社ヒロタテクノ」。今回は、代表取締役の山内宏二さんにお話を伺いました。

会社について

教えてください。

「光学精密部品加工とは金属をミクロン単位で高精度に削り出し、磨き上げる製造技術のことです。主にカメラのレンズに使われる鏡筒を作っています。NC旋盤やマシニングセンターといった、コンピュータ制御で金属に刃物を当てて自動で削り出

ることをよく社員には伝えています。『基本に忠実で、ひとつひとつ継続すること』は、やっていることは簡単でも本当に難しいことなのです。基本を毎日続けることが製品の品質を高め、良いものを作ることが会社の信用になっていきます。『当たり前のことを当たり前にできること』は信念ですね。これができて一人前の会社だと思っています」

これからの目標を教えてください。

「今後はコンピュータ制御などのソフト面に力を入れていきたいです。最新鋭のコンピュータを導入することで、もつと楽に誰でも製造ができるのではないかなと思っています。製造の自動化もハードルは高いですが、実現すればより多くの製品を作れるようになります。」

只見町は地理的な不利がある場所ですが、そういった技術を取り入れて活用していかないと、この分野での競争に打ち勝ち、経営を成り立たせていくことができません。これからも地元の方の力も借りて、全国、優秀な外国の方の力も借りて、全世界に通用する『モノづくり』『ヒットづくり』ができればいいなと思います」

株式会社ヒロタテクノ

住所：只見町長浜字杉沢

1245-1109

TEL：0241-72-8655

7月下旬～8月 イベント情報

7月25日(土)・8月22日(土)

めいわマルシェ

野菜や古着、雑貨・手工芸作品などの店舗が出店予定です。お誘いあわせの上、ご来場ください。

【時間】午前9時～正午

【場所】明和公民館駐車場

【問合せ先】明和公民館

(TEL 0241-86-2111)

7月25日(土)・8月29日(土)

「民話茶屋」

只見町で語り継がれてきた昔ばなしを只見町昔ばなしの会の方々が只見井で語ります。

【時間】午前10時30分～

【場所】ただみ・モノとくらしのミュージアム

いろいろの間

【問合せ先】ただみ・モノとくらしのミュージアム

(TEL 0241-86-2175)

8月16日(日)

河井継之助墓前祭

長岡藩の家老・河井継之助の命日に毎年行われる墓前祭です。医王寺において読経や焼香が行われます。

【時間】午前11時予定

【場所】医王寺(只見町塩沢)

【問合せ先】河井継之助墓前祭実行委員会

(河井継之助記念館内)

(TEL 0241-82-2870)



町民の消息

(5月26日～6月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

星 深景 (男/和男・美央) 坂 田

■ご結婚おめでとうございます

小林 川原田 史紹 ♡ グエン ティトゥ ベトナム
福島市 太田 敦士 ♡ 菊地 優花 梁 取

■おくやみ申し上げます

菅 家 ヒコイ 90歳 黒 谷
五十嵐 和 彦 63歳 福 井



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和8年6月1日現在

人	口	3,370 (-6)
男		1,685 (±0)
女		1,685 (-6)
世帯数		1,457 (+3)
高齢化率		48.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 13 転出 11 出生 0 死亡 8

▽広報紙を作るには、企画して、取材して、写真を撮って、記事にまとめて……とりわけ視覚の情報である写真の持つ力、伝える力は偉大です。
▽写真を撮るにはカメラが必要。今回取材でお伺いした株式会社ヒロタテクノさんではレンズ製造の現場をご案内いただきました。日頃使っているレンズが只見町で作られているとは！感動しました。お忙しい中、取材にご協力いただいたこと感謝申し上げます。(滝沢)

あとがき

只見公民館 図書紹介

只見公民館図書室
☎82-2141

おすすめ新着図書

★きもちのことばえほん — 伝える力が身につく！

【監修】金田一 秀穂 (日本図書センター)



うれしい・たのしい・
かなしい・すき・こわい
……

7ジャンル154種類の
「きもちのことば」を
イラスト化！

語彙力 表現力 コミ
ュニケーション力 思考

力がぐんぐん伸びる絵本です。

「やばい」「すごい」「かわいい」だけではつまらない！

自分のきもちにぴたり合うことばを見つけよう！

★月がきれいな夜に、 誰かに思い出してほしかった

【著】川代 紗生 (サンマーク出版)



失恋の思い出を「料理」とともに埋葬する、不思議な喫茶店を舞台にした物語。

恋愛や人間関係の中で抱える孤独や葛藤に寄り添いながら、自分らしい幸せの形を見つけていく登場人物たちの姿が丁寧に描かれています。

読み終えたあと、誰かに思うこと、誰かに思われることの温かさが心に残る1冊です。

○只見公民館ではリクエストを随時受付しています。
読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

町民憲章

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう





只見町ブナセンター通信

Vol.16



只見町ブナセンター

TEL 0241 (72) 8355

生き物が豊かな田んぼで 只見の農業を高付加価値化し、 田園風景を未来へつなぐ！



只見の田んぼのある風景を
次世代に繋いでいくための活動です



福島大学やアクアマリンふくしまの
協力を得て生物調査を実施

令和7年11月、只見町と合同会社ねっかは、地域の文化・自然・産業を守り育み、次世代へと紡ぐ持続可能な地域づくりを目的とした包括連携協定を締結しました。この協定による具体的なアクションとして、令和8年度より只見町産米を原料とする「ねっか」の製造と田んぼの環境保全を結びつけ、生物多様性と地域循環を可視化するため、深沢地区などの田んぼをフィールドに生き物調査を開始しました。

多くの生き物が田んぼやその周辺にいることは、その田んぼで生産されるお米やその加工品は私たちの口に入っても安心・安全な食べ物であるという証明につながります。また、そのこと自体が商品の価値を高めてくれます。田んぼの畔の草の除去に農薬を使わず、手刈りで行うなどの農家さんたちの日々の努力もあり、只見の田んぼには多くの生き物がいるようです。田んぼにどんな生き物がどのくらいいるかを調査し、その実態を科学的に明らかにし、只見のお米や加工品の付加価値を高められるようにしたいと考えています。田んぼに多くの生き物がいる→只見のお米が自然と人に優しいお米としてのブランド価値が高まる→農家さんたちの収入につながる→田んぼの生き物を大切にする農業が進む→人と自然が共生する只見町のブランド化が進む→只見の田園風景が引き継がれていく。このようなストーリーが描けないかと期待しています。

只見町ブナセンターからのお知らせ

企画展「アリからクマまで－タネをまく動物」

期間：4月4日(土)～11月30日(月) 場所：ただみ・ブナと川のミュージアム

内容：自ら動くことができない植物は、動物の力を借りてタネを遠くに移動させ、子孫を残してきました。本企画展では、その仕組みなどについて、全国の研究者が解説します。また、大人から子供まで楽しく理解できるよう工夫をしましたので、ぜひ見学にお越しください。

※この広報紙は再生紙を使用しています

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています